

5 予防接種の計画を立ててみましょう

定期予防接種（A 類疾病）の接種時期一覧

（注）接種間隔の起算日は接種した日の翌日です。接種間隔は法令では日数で定められていますが、たとえば「1 週間の間隔」というのは「1 週間後の同じ曜日の日以降」と考えてください。

		1 か 月	2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月
		出生 0 日後	出生 6 日後	出生 14 日後	出生 24 日後	出生 32 日後	出生 40 日後	出生 48 日後	出生 56 日後
ロタウイルス 感染症 (12 頁参照)	経口弱毒生 ヒトロタウイルスワクチン (1 価ワクチン)		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	5 価経口弱毒生 ロタウイルスワクチン (5 価ワクチン)		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

（※）：初回接種については、生後 2 月に至った日から出生 14 週 6 日後までの間を標準的な接種期間として接種します。

		3 か 月	6 か 月	9 か 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	18 歳	19 歳	20 歳
B型肝炎 (14 頁参照)		↓	↓	↓																				
ヒブ Hib 感染症 (15 頁参照)		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
小児の肺炎球菌感染症 (18 頁参照)		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ジフテリア(D)・百日せき(P) 破傷風(T)・ポリオ(PV) Hib 感染症 (15, 21 頁参照)	第 1 期 DPT-IPV-Hib	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ジフテリア(D)・百日せき(P) 破傷風(T)・ポリオ(PV) (21 頁参照)	第 1 期 (DPT-IPV・ DPT-DT-IPV)	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ジフテリア(D) 破傷風(T) (21 頁参照)	第 2 期 (DT)																							
BCG (25 頁参照)		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
麻しん(はしか)(M) 風しん(R) (MR・M-R) (27 頁参照)					↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
水痘 (水ぼうそう) (30 頁参照)					↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
日本脳炎 (31 頁参照)					↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ヒトパピローマ ウイルス感染症 (34 頁参照)	2 価または 4 価ワクチン																							
	9 価ワクチン																							

注1)：DTを第1期に接種する場合は、生後3月からとなります。

注2)：平成7(1995)年4月2日から平成19(2007)年4月1日に生まれ、第1期、第2期の接種を受けられなかった人は、20歳未満であれば、定期接種として受けることができます。

7 予防接種の対象となる病気とワクチンについて

国内での患者発生は西日本地域が中心ですが、日本脳炎ウイルスは西日本を中心として日本全体に分布しています。飼育されているブタにおける日本脳炎の流行は毎年6月から10月頃まで続きますが、この間に、地域によっては、約80%以上のブタが感染しています。日本脳炎は、以前は小児、学童に多く発生していましたが、予防接種の普及、環境の変化などで患者数は減少しました。最近では高齢者を中心に患者が発生していますが、平成27(2015)年には10か月児の日本脳炎確定例が千葉県から報告されています。また、平成28(2016)年は高齢者を中心に11人の報告がありました。報告数が年間10人を超えたのは、平成4(1992)年以降で初めてです。令和5(2023)年は12月3日時点までに6人が報告されています。(国立感染症研究所感染症発生動向調査IDWR(2023年第48週)週報から)

(2) 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン(不活化ワクチン)

現在国内で使用されている乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンは、ペロ細胞という細胞でウイルスを増殖させ、ホルマリンなどでウイルスを殺し(不活化)、精製したものです。

医療機関から副反応の疑い例(有害事象)として報告されたうちの重篤症例(報告者が重篤として判断するもの)の発生頻度は、0.0007%です。(平成25(2013)年4月1日から令和5(2023)年9月30日までの数値。令和6(2024)年1月第100回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料2-21から。)

第1期の定期接種の対象は、生後6月から生後90月にあるお子さんです。標準的な接種方法は、3歳に達した時から4歳に達するまでの期間に6日から28日までの間隔をおいて2回、4歳に達した時から5歳に達するまでの期間に1回接種を行います。また、第2期の定期接種の対象は、9歳以上13歳未満のお子さんです。標準的な接種方法は、9歳に達した時から10歳に達するまでの期間に1回接種を行います。

(3) 接種時期

		3 か 月	6 か 月	9 か 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	18 歳	19 歳	20 歳
日本脳炎	2 価または 4 価ワクチン																							
	9 価ワクチン																							

注)：平成7(1995)年4月2日から平成19(2007)年4月1日に生まれ、第1期、第2期の接種を受けられなかった人は、20歳未満であれば、定期接種として受けることができます。